

2013年4月8日

日本物流学会 会員各位

第30回全国大会実行委員会
委員長 黒川 久幸（東京海洋大学）

「第30回日本物流学会全国大会での報告者募集のご案内」

会員各位におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、創立30周年となる本年の全国大会は9月13日（金）から14日（土）の日程（別紙1）で、**東京海洋大学越中島キャンパス**（東京都江東区越中島 2-1-6）において開催致します。本年の統一論題は「**ネットワーク社会を支えるロジスティクス**」（別紙2）としました。自由論題とあわせて多数の報告者を募集致します。

つきましては、同封の別紙3の各項目をすべてご記入のうえ、電子メールまたはFAXにて大会実行委員会までできるだけ早くご送信頂きますようお願い申し上げます。なお、**報告申込最終期限は6月3日（月）**です。応募方法は、学会のWEBサイトからもご参照いただけます。

※日本物流学会（<http://www.logistics-society.jp/>）

【送付先】

第30回日本物流学会全国大会事務局

電子メール：taikai30@gmail.com（第30回全国大会専用）

F A X：03-5245-7338（東京海洋大学 黒川研究室）

※全国大会では、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられています。原稿を提出しても発表をしなかった場合には「会報」による発表実績からは削除されます。期日（7月22日）までの原稿提出と、発表当日（9月14日）の日程が確保できることをご確認のうえ、応募してください。なお、発表は一人一本（第1著者）を原則とします。

※報告者に対する受領通知や研究報告集原稿作成のお願いは、電子メールを用いて連絡させていただきます。受領通知につきましては、平日は2日以内にご連絡申し上げます。加えて、6月中旬に、報告者へ「研究報告集原稿作成のお願い」をご送付申し上げます。

※各種の問い合わせ等は電子メールでお願い致します。電話での対応はできませんので、ご了承願います。

第 30 回日本物流学会全国大会プログラム（案）

9 月 12 日（木）

午後エクスカージョン（予定）

夕刻（時間未定） 理事会

9 月 13 日（金）

30 周年記念大会シンポジウム

9：30～ 受付

10：00～12：00 基調講演，特別講演

12：00～13：30 （昼食）

13：30～15：30 特別講演，パネルディスカッション

15：45～17：15 会員総会

17：30～19：30 懇親会

9 月 14 日（土）

09：30～12：00 統一論題、自由論題、院生セッション

12：00～13：00 昼食

13：00～16：30 統一論題、自由論題、院生セッション

会場ごとに終了

（注） 時間は一応の目安で、発表件数などによって変更の可能性があります。

別紙 2

第 30 回日本物流学会全国大会 統一論題 「ネットワーク社会を支えるロジスティクス」

統一論題の趣旨

近年、通販市場においてインターネットを用いた通販（ネット通販）が急速に成長しています。電子商取引に関する市場調査（経済産業省）によれば、平成 23 年の日本の消費者向け電子商取引の市場規模は、8.5 兆円となり、前年比 8.6%の増加となっています。特に、医薬化粧品、衣類・アクセサリ、食料品を扱う小売業において顕著で、対前年比で 20%以上の伸びを示しています。

そして、これらのネット通販では、「送料無料」や「翌日・当日配達」が標準サービスとなっており、ネット通販を支えるロジスティクスには厳しいコスト削減と消費者の利便性を高めるオペレーションが求められています。さらに、ロングテールの商品を品揃えし販売する仮想店舗に対応するためには数万点、数十万点に及ぶ商品を取り扱う必要があり、物流センター内の作業の効率化も非常に重要な課題となっています。また、配達先での商品の組み立てや設置のほか、返品や回収といった静脈物流にも対応することが求められています。そのほか、商品の決済機能の代行や高齢者世帯などでの安否確認に至るまで、ネット通販を支えるロジスティクスには、多くの機能と社会的な役割を担うことが期待されています。

現在、小売の主流となっているコンビニは、「いつでも買える」時間の便利さ、「近くで買える」距離の便利さ、「様々な商品を買える」品揃えの便利さから発展してきました。この消費者にとっての便利さをさらに高めたのがネット通販といえます。メーカーによる通販ビジネス立ち上げも増加しています。小売業だけでなく、メーカーにとってもネット通販市場の成長は自社のロジスティクスを見直す機会となるといえます。

節目となる第 30 回日本物流学会全国大会では、成長著しいネット通販を取り上げ、消費者の利便性向上に向けたロジスティクスのさらなる進化について議論していきたいと思えます。学会員の皆様におかれましては、様々な視点に立った日頃の研究成果を積極的にご発表頂けますようお願いいたします。